

Orthopaedics is My Life!
運動器のスペシャリストを目指して！

整形外科専門研修プログラム

募集定員
6名

研修期間
4年



責任者からのメッセージ

整形外科
亀井 直輔



宮崎の自然や人は最高です。
また、柔軟性のある理想的教育環境や研修カリキュラム、気軽に相談できる多くの指導医がいます。
是非、一緒に研修し世界を視野に地域から始めましょう。南国宮崎の自然と人があなたを待っています！

プログラムの特徴

本プログラムは3年9ヶ月の研修を義務付けており、4年目の12月で終了し、1月に専門医試験を受験します。

- 1年目は大学病院で研修します。
- 2～3年目は地域中核病院または宮崎市内の連携病院で、主に一般整形外科・外傷を学び外来～手術～後療法的主治医となります。この時期に地域医療も研修します。
- 3年9か月の研修後に、大学院希望者は大学院コースへ、subspeciality希望者は大学を含む連携病院での研修が選択できます。
- 専門医取得後、海外・国内留学などを推奨しています。また、各種競技の帯同ドクター、スポーツ現場での活動や日本スポーツ協会公認スポーツドクターの取得も推奨しています。
- 女性医師へのサポート体制も整えています。産休・育休の取得はもちろんのこと、家庭の状況に応じて勤務形態を選択することができ、女性にも優しいプログラムになっています。

連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	亀井 直輔、他13名	脊椎、上肢・手、下肢、外傷、リウマチ、スポーツ、小児整形、腫瘍、リハビリ
連携施設	高千穂町国民健康保険病院、宮崎県立延岡病院、済生会日向病院、宮崎県立こども療育センター、宮崎市立田野病院、宮崎市郡医師会病院、宮崎江南病院、串間市民病院、宮崎県立日南病院、都城市郡医師会病院、国立病院機構都城医療センター、えびの市立病院、国立病院機構宮崎病院、千代田病院、藤元総合病院、橘病院、野崎東病院、球磨郡公立多良木病院、宮崎善仁会病院、潤和会記念病院、小林市立病院、なんごう病院		

取得可能な専門医資格および技能

<取得可能専門医>

日本整形外科学会整形外科専門医

日本リハビリテーション医学会リハビリテーション専門医

<サブスペシャリティ>

日本脊椎脊髄病学会指導医、日本リウマチ学会専門医、日本手外科学会専門医

<取得可能な資格>

日本スポーツ協会公認スポーツドクター、日本リハビリテーション医学会リハビリテーション認定臨床医、日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ医、日本医師会健康スポーツ医、日本人工関節学会認定医、日本骨粗鬆学会認定医、日本膝関節学会関節鏡技術認定医

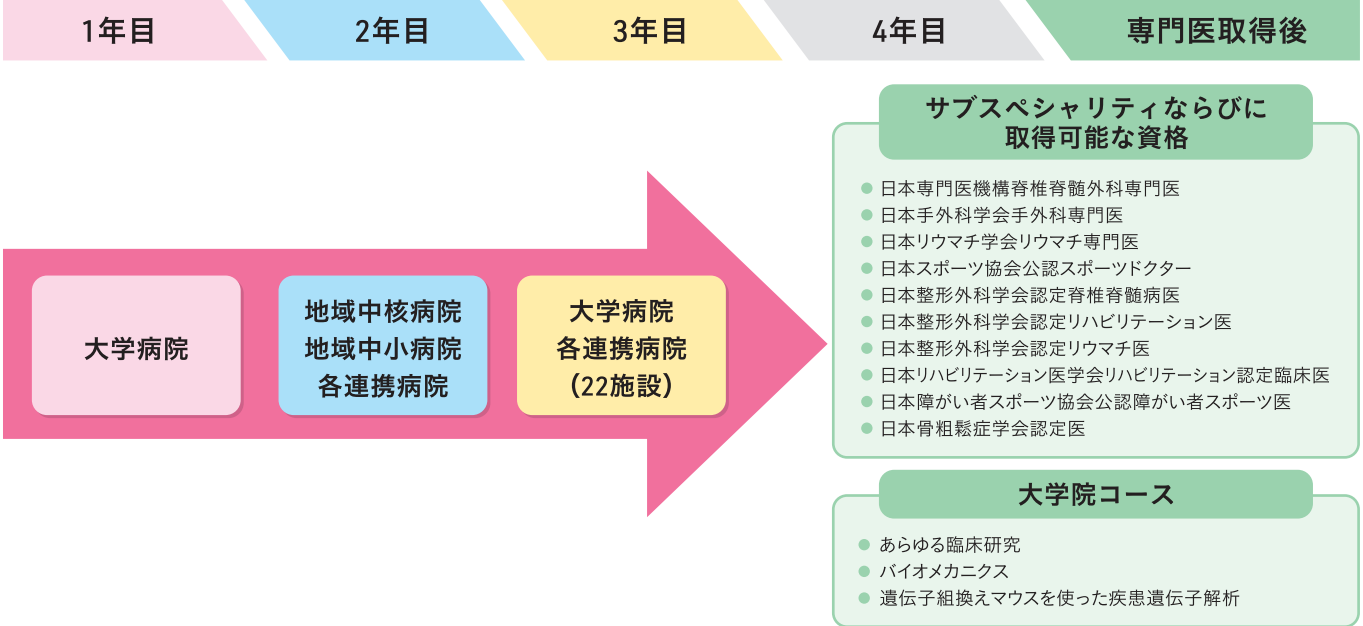
プログラム達成目標

宮崎大学医学部附属病院整形外科専門研修プログラムは到達目標を「自立したプロフェッショナルとしての整形外科医師」としています。
整形外科学は、運動器の機能と形態の維持・再建をめざす臨床医学であり、脊椎、上肢、下肢などの広範な診療領域を扱います。高齢化社会をむかえた我国においては、整形外科への期待はますます大きくなっています。現在、宮崎大学医学部附属病院整形外科には、脊椎、股関節、膝関節・スポーツ医学、上肢・手外科、足の外科、小児整形外科、リウマチ、骨代謝、リハビリテーションなどの診療、および研究グループがあります。連携施設は、スポーツ医学、手外科、脊椎外科、関節外科、救急医療、リウマチ、リハビリテーションなどそれぞれに特色をもった22におよぶ施設、病院があり、機能的なローテーションにより、プライムケアから最先端の臨床・研究までを学ぶことを目標としています。

主要症例名と実績数

入院加療を行っている症例は、救急外傷(多発・重度外傷)、骨折などの外傷はもちろんのこと、変形性関節症などに対する再生医療としての骨切り術・関節形成術や人工関節置換術、靱帯損傷に対する靱帯再建や腱板損傷や肩関節脱臼に対する関節鏡視下手術、顕微鏡手術を導入した脊椎外科、スポーツ選手管理を行うスポーツ整形、手の機能再建や多指症など先天性疾患に対する形成術を中心とした手外科、骨軟部腫瘍に対する化学療法や再建術、薬物療法から機能再建術まで担う関節リウマチ、小児整形外科、骨粗鬆症など、専攻医はすべての症例を研修することができます。手術症例数は年間1,300例で、同規模の病院では最多です。

専門医取得までのタイムスケジュール



週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時間	月	火	水	木	金
AM	手術	外来	外来	抄読会・手術	術前カンファ・外来
PM	手術	外来・病棟業務	検査	手術	術後カンファ・回診・医局会

指導医からのメッセージ



助教 永井 琢哉

『整形外科は大工さんみたい』確かに手術室ではドリルやハンマーの音が響きます。力仕事のイメージがあるかもしれませんが、実はスクリー1本にも工夫を凝らしており、女性医師も数多く活躍しています。最大の魅力は、患者さんの笑顔が見られるところです。今まで歩けなかった方が歩けるようになったり、痛みが軽くなったり、整形外科は子供からお年寄り、アスリートまで診る運動器のスペシャリストです。また整形外科専門医を取った後にスポーツドクターなどのサブスペシャリティーにも挑戦できまし、骨粗鬆症などありふれた病気もまだまだ解明できない謎があり、アカデミックな研究も盛んに行っています。整形外科に少しでも興味のある方、まだ将来何科になるか悩まれている方はぜひ研修に来てくれば嬉しいです。一生の仕事になると 생각합니다。

先輩からのメッセージ



宮崎江南病院 日高 三貴

整形外科は、多様な働き方が可能であり、個々のライフステージに応じたキャリアを築くことができる診療科です。私自身、出産・育児という人生の大きな節目を迎えた際に、その柔軟な環境の恩恵を受けました。

産後、育休を経て職場復帰した際には、手術を伴わない一般外来を中心とした病院に異動し、0歳から100歳まで幅広い患者さんを診る機会を得ました。この経験は、整形外科医としての総合的な診療力を高める貴重な時間でした。産後2年半程してからは脊椎外科を志し、手術に復帰して経験を積んでいます。このように、当医局ではそれぞれの状況に合わせた働き方を支援し、育児と仕事を両立できる環境が整っています。先生方の協力や配慮のおかげで、安心してキャリアを継続することができるのも大きな魅力です。温かく協力的な雰囲気の中で、多様な経験を積みながら、自分に合った働き方を見つけられる 当科で一緒に働きませんか？

ココに注目！

当科では、侍ジャパン、なでしこジャパン、サッカー日本代表U-16、ラグビー高校日本代表やラグビーワールドカップ、国スポ・障スポの帯同ドクターの派遣、各種大会のメディカルチェック・サポートも行っています。

さらに、宮崎でキャンプを行うプロチーム等のメディカルサポートも担当しています。
また少年野球検診等に関する事業にも力を入れており、子供からの運動器のケアを行っています。

お問い合わせ先

担当：亀井 直輔

T E L：0985-85-0986

F A X：0985-84-2931

e-mail：seikei@med.miyazaki-u.ac.jp

整形外科 HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/ortho/>

